

第 71 回（令和 3 年）

財務諸表論 理論模試 # 1

（提出期日 7 月 27 日）

<ポイント>

①専門誌の模範解答は専門学校講師数人が何度もチェックした解答です。あのような解答は本試験ではだれも作成できません。

②基準の言葉は厳密に

③わからないときでも下記の要領で作文で点数を稼ぐ

計算用紙で事前準備（簡単なフローを書き、論理構成に誤りがないかチェック）

主語と述語を意識して簡潔に記す。

形容詞を付け加える

「さらに」「これにより」などで追記する。

<例>

減価償却は費用配分の手続きである。

→減価償却は取得原価を耐用年数にわたって配分する手続きである。

→減価償却は取得原価を耐用年数にわたって配分する手続きである。これにより適正な期間損益計算を実現する。

目標時間は 40 分です。

できれば何も見ずに解答して下さい。もしもテキスト等みる場合でも「10 分程度暗記を行い」その後「何も見ずに解答する努力」をしてください

今回のテーマ

①のれんに関する知識を総合的に問う問題です。

②新基準である収益認識の会計基準に関する問題です。初出の場合は基本的な問題が問われる可能性があります。

第1問 (25点)

1. 次の文章は「のれん」に関連する会計基準等の抜粋（一部省略）です。①から③にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

<企業結合に関する会計基準>

取得原価が、受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された（ ① ）を上回る場合には、その（ ② ）はのれんとして会計処理し⁽¹⁾、下回る場合には、その不足額は負ののれんとして会計処理をする。

<概念フレームワーク>

利用価値は、市場価格と並んで、資産の価値を表す代表的な指標の1つである。利用価値は、報告主体の主観的な期待価値であり、測定時点の市場価格と、それを超える無形のもの価値とを含んでいる⁽²⁾。そのため、利用価値は、個々の資産の価値ではなく、貸借対照表には計上されていない。

無形資産も含んだ企業全体の価値を推定する必要がある場合に利用される。ただし、取得原価を超える利用価値で資産を測定した場合には、（ ③ ）が計上されることになる⁽³⁾。

①	②	③
---	---	---

(各1点)

2. 下線部(1)について、連結財務諸表に関する会計基準ではどのように表現されているか

(4点)

3. 下線部(2)について、「減損に係る会計基準の設定に係る意見書」ではどのように表現されているか

(4点)

3. 下線部(3)について、③が計上されることは、財務報告の目的との観点でどのような問題があるか

(4点)

4.のれんの償却に関する以下問に答えなさい

のれんを「規則的に償却すること」によるメリットを損益計算の立場から答えなさい

(5点)

「企業結合により生じたのれんを規則的に償却しない場合は、時間の経過とともに自己創設のれんに入れ替わる可能性がある」といわれているが、その理由を述べなさい

(5点)

第2問 (25点)

1. 次の文章の () にあてはまる適切な語句を記入し、以下の問に答えなさい

<損益計算書原則1 A>

すべての (①) 及び (②) は、その支出及び収入に基づいて計上し、その発生した期間に正しく割当てられるように処理しなければならない。ただし、(③)、原則として、当期の損益計算に計上してはならない。

①	②	③
---	---	---

(各1点)

実現の2要件を答えよ

①	②
---	---

(両方正解で2点)

以下の問に簡潔に答えよ (各2点)

リスクとは

--

投資のリスクとは

--

リスクからの解放とは

--

収益認識の会計基準における5つのステップに関し、()内に適切な語句を記入しなさい

ステップ1: 顧客との(①)を識別する。

ステップ2: (①)における(②)を識別する。

ステップ3: (③)を算定する。

ステップ4: (①)における(②)に(③)を配分する。

ステップ5: (②)を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

①	②	③
---	---	---

(各1点)

★ステップ3について

取引価格とは、財又はサービスの顧客への移転と交換に企業が権利を得ると見込む対価の額(ただし、第三者のために回収する額を除く(1))をいう。取引価格の算定にあたっては、契約条件や取引慣行等を考慮する。

顧客により約束された対価の性質、時期及び金額は、取引価格の見積りに影響を与える。取引価格を算定する際には、次の(中略)すべての影響を考慮する。

(1) 変動対価

(2) 契約における重要な金融要素

変動対価の意味を説明しなさい

--

(3点)

変動対価の計算方法には2種類ある。その名称を記しなさい

①	②
---	---

(各1点)

契約における金融要素の影響を考慮する例を仕訳で例示しながら説明しなさい

--

(2点)

★ステップ 5

一時点で充足される履行義務において、一般の商品販売において採用される収益の認識基準を国内取引を例にして示しなさい

--

(2点)

一定の期間にわたり充足される履行義務において、工事契約において収益に認識基準を例に進捗度を合理的に見積もることが可能な場合とそうでない場合の基準名を示しなさい

可能な場合：
そうでない場合：

(各1点)